

# JX金属株式会社 貸借対照表

(2021年3月31日現在)

(単位：百万円)

資 産 の 部		負 債 及 び 純 資 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	(705,993)	(負債の部)	(346,223)
<b>流動資産</b>	268,660	<b>流動負債</b>	301,893
現金及び預金	161	買掛金	29,440
受取手形	1,879	短期借入金	231,420
売掛金	54,346	リース債務	58
商品及び製品	8,711	未払金	3,774
原材料及び貯蔵品	66,583	未払費用	5,337
仕掛品	29,177	未払法人税等	5,788
前渡金	2,014	預り金	14,542
前払費用	892	賞与引当金	3,073
短期貸付金	94,066	環境対策引当金	1,906
未収入金	9,382	遊休設備撤去工事引当金	439
デリバティブ債権	1,397	デリバティブ債務	5,458
その他の流動資産	122	債務保証損失引当金	36
貸倒引当金	△ 69	その他の流動負債	622
<b>固定資産</b>	437,333	<b>固定負債</b>	44,331
有形固定資産	92,205	長期借入金	12,084
建物	25,629	リース債務	119
構築物	4,861	退職給付引当金	23,112
機械及び装置	33,286	株式報酬引当金	195
車両運搬具	115	環境対策引当金	5,399
工具、器具及び備品	2,619	事業撤退損失引当金	1,938
土地	15,745	資産除去債務	162
リース資産	165	デリバティブ債務	249
建設仮勘定	9,784	その他の固定負債	1,074
無形固定資産	3,261		
特許権	21	(純資産の部)	(359,770)
借地権	152	<b>株主資本</b>	367,024
ソフトウェア	2,929	資本金	75,000
その他の無形固定資産	158	資本剰余金	116,140
投資その他の資産	341,868	資本準備金	60,000
投資有価証券	2,067	その他資本剰余金	56,140
関係会社株式	196,412	利益剰余金	175,884
出資金	230	その他利益剰余金	175,884
関係会社出資金	2,310	固定資産圧縮積立金	175
長期貸付金	122,874	繰越利益剰余金	175,709
長期前払費用	96	<b>評価・換算差額等</b>	△ 7,254
繰延税金資産	13,670	その他有価証券評価差額金	△ 23
その他の投資	4,209	繰延ヘッジ損益	△ 2,105
貸倒引当金	0	土地再評価差額金	△ 5,126
<b>合 計</b>	705,993	<b>合 計</b>	705,993

(記載金額は百万円未満を四捨五入して表示しています。)

## JX金属株式会社 損益計算書

〔 2020年4月1日から  
2021年3月31日まで 〕

(単位:百万円)

科 目	金 額
売上高	303,092
売上原価	242,727
売上総利益	60,365
販売一般売管費	5,401
販売一般管理費	29,222
営業利益	34,623
営業外収益	25,742
受取利息	34,414
受取配当金	3,506
為替差益	24,709
賃貸収入	370
その他	3,491
営業外費用	2,337
支払利息	7,231
賃貸費用	339
環境管理費	3,263
その他	2,516
経常利益	1,113
特別利益	52,925
関係会社株式売却益	2,858
固定資産売却益	2,732
特別損失	126
固定資産売却損	13,394
固定資産除却損	2
遊休設備撤去工事引当金繰入額	645
減損損失	400
投資有価証券評価損	304
関係会社株式評価損	193
債務保証損失引当金繰入額	11,797
その他	36
税引前当期純利益	16
法人税、住民税及び事業税	42,388
法人税等調整額	7,416
当期純利益	△1,385
	36,357

(記載金額は百万円未満を四捨五入して表示しています。)

## JX金属株式会社 株主資本等変動計算書

〔 2020年4月1日から  
2021年3月31日まで 〕

(単位:百万円)

	株主資本							株主資本 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		利益 剰余金 合計	
		資本 準備金	その他 資本剰余金	資本 剰余金 合計	その他利益剰余金			
					固定資産 圧縮積立金	繰越利益 剰余金		
2020年4月1日残高	75,000	60,000	56,140	116,140	181	152,846	153,027	344,167
当期変動額								
剰余金の配当						△ 13,500	△ 13,500	△ 13,500
固定資産圧縮積立金の取崩					△ 6	6	-	-
当期純利益						36,357	36,357	36,357
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)							-	-
当期変動額の合計	-	-	-	-	△ 6	22,863	22,857	22,857
2021年3月31日残高	75,000	60,000	56,140	116,140	175	175,709	175,884	367,024

(単位:百万円)

	評価・換算差額等				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計	
2020年4月1日残高	△ 45	431	△ 5,126	△ 4,740	339,427
当期変動額					
剰余金の配当				-	△ 13,500
固定資産圧縮積立金の取崩				-	-
当期純利益				-	36,357
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	21	△ 2,536	-	△ 2,514	△ 2,514
当期変動額の合計	21	△ 2,536	-	△ 2,514	20,343
2021年3月31日残高	△ 23	△ 2,105	△ 5,126	△ 7,254	359,770

(記載金額は百万円未満を四捨五入して表示しています。)

## 個別注記表

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

子会社株式及び関連会社株式	……………	移動平均法による原価法
その他有価証券		
時価のないもの	……………	移動平均法による原価法

#### (2) デリバティブの評価基準及び評価方法

デリバティブ	……………	時価法
--------	-------	-----

#### (3) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

評価基準は収益性の低下による簿価切下げの方法、評価方法は以下の方法によっています。

商品及び製品・原材料・仕掛品	……………	先入先出法
貯蔵品のうち重要資材	……………	移動平均法
貯蔵品のうち重要資材を除く一般資材	……………	最終仕入原価法

#### (4) 固定資産の減価償却方法

有形固定資産	……………	定額法
無形固定資産	……………	定額法

なお、ソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づいています。

#### リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

……… リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しています。

#### (5) 引当金の計上基準

貸倒引当金 …………… 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しています。

賞与引当金 …………… 従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき計上しています。

退職給付引当金 …………… 従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しています。

##### ①退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっています。

##### ②数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法

数理計算上の差異及び過去勤務費用は、発生年度に全額を費用処理しています。

株式報酬引当金 …………… 役員報酬 BIP(Board Incentive Plan)信託による当社の親会社である ENEOSホールディングス株式の交付に備えるため、株式報酬支給内規に基づき、取締役及び執行役員に割

り当てられたポイントに応じた株式の支給見込額を計上しています。

環境対策引当金	……………	過去の操業に起因する環境対策工事の支出に充てるため、今後発生すると見込まれる損失について合理的に見積もられる金額を計上しています。
遊休設備撤去工事引当金	…	既に遊休となっている設備の撤去工事の支出に充てるため、今後発生すると見込まれる損失について合理的に見積もられる金額を計上しています。
事業撤退損失引当金	……………	事業撤退による損失に備えるため、損失見込相当額を計上しています。
債務保証損失引当金	……………	保証債務の履行による損失に備えるため、保証履行の可能性の高い債務保証につき、求償権の行使による回収可能性を検討して、損失見込相当額を計上しています。

(6) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

ヘッジ会計の方法	……………	原則として繰延ヘッジ処理によっています。ただし、振当処理の要件を満たす為替予約取引については、振当処理によっています。
消費税等の会計処理方法	…	消費税及び地方消費税の会計処理方法は、税抜方式によっています。
連結納税制度の適用	……………	連結納税制度を適用しています。

(7) 表示方法の変更

当事業年度より、「会計上の見積りの開示に関する会計基準」（企業会計基準第 31 号 2020 年 3 月 31 日）を適用しています。

2. 会計上の見積りに関する注記

当社の計算書類には、経営者の見積りを含みます。資産・負債及び損益に影響を与える見積りは、過去の実績やその他の様々な要因を勘案し経営者が合理的に判断しておりますが、見積り特有の不確実性があるため、実際に生じる結果とは異なる可能性があります。

当社の計算書類に重要な影響を与える可能性のある、主な見積りは以下のとおりです。

当社は、子会社である SCM Minera Lumina Copper Chile（以下、MLCC）、ニッポン・カセロネス・リソーシズ（株）、MLCC Finance Netherland B.V.、Caserones Finance Netherland B.V.等を通してカセロネス銅鉱山を運営しており、これらの子会社に対して合計 112,241 百万円の貸付金等の債権を有しております。

カセロネス銅鉱山の販売活動における国際資源価格（銅、モリブデン）は、外部機関による市場予測を考慮した見積りを行っており、長期生産計画については、同鉱山の操業期間および生産計画に基づき生成される将来キャッシュ・フローの見積りに基づいて算定しています。よって、国際資源価格および長期生産計画が主要な仮定となります。

同鉱山が獲得できる将来キャッシュ・フローは、当社が保有する債権の元本及び利息を上回るた

め、当該債権等に貸倒の懸念はないと判断し、貸倒引当金の設定は不要であると考えております。  
 しかし、翌事業年度は、(i)将来の国際資源価格に対する見積り、(ii)将来の長期生産計画の変更、または(iii)経済およびその他の事象または状況の変化により、計算書類に重要な影響を与える可能性があります。

### 3. 貸借対照表に関する注記

(1) 担保に供している資産及び担保に係る債務

有形固定資産(注1) 42,173 百万円

(注1)工場財団を組成し、根抵当権1百万円の担保に供しています。

(2) 有形固定資産の減価償却累計額 …………… 159,357 百万円

(3) 保証債務等

以下の会社等の銀行借入債務、取引債務に対し債務保証、保証予約及び再保証を行っています。

会社名	金額
ニッポン・カセロネス・リソーシズ株式会社	70,828 百万円
J X 金属製錬株式会社	38,000 百万円
パンパシフィック・銅株式会社	31,253 百万円
TANIOBIS GmbH	15,003 百万円
SCM Minera Lumina Copper Chile	10,546 百万円
その他	14,662 百万円
計	180,291 百万円

(4) 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務

短期金銭債権 142,161 百万円

長期金銭債権 124,679 百万円

短期金銭債務 253,252 百万円

長期金銭債務 12,005 百万円

(5) 土地の再評価

土地の再評価に関する法律に基づき、事業用土地の再評価を実施しており、再評価差額を土地再評価差額金として純資産の部に計上しています。

再評価実施日 2000年3月31日

再評価の方法 土地の再評価に関する法律施行令第2条第4号に定める路線価に基づいて、奥行価格補正等の合理的な調整を行って算定しています。

(6) 圧縮記帳に関する注記

①国庫補助金等の受入に伴い、有形固定資産の取得価額から控除している圧縮記帳累計額は次のとおりです。

建物 44 百万円

構築物 37 百万円

機械及び装置 871 百万円

その他 1 百万円

②当事業年度において、国庫補助金等の受入に伴い、有形固定資産の取得価額から控除している圧縮記帳額はありませぬ。

#### 4. 損益計算書に関する注記

##### (1) 関係会社との取引高

売上高	214,201 百万円
仕入高	131,442 百万円
一般管理費	1,943 百万円
営業取引以外の取引による取引高	40,381 百万円

(2) 売上原価には、棚卸資産の収益性の低下による簿価切下額  $\Delta 2,231$ 百万円が含まれています。

#### 5. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 当事業年度の末日における発行済株式の総数 …………… 普通株式 928,463,102 株

##### (2) 剰余金の配当に関する事項

###### 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額	1株当たりの配当額	基準日	効力発生日
2020年6月25日 定時株主総会	普通株式	13,500 百万円	14円54銭	2020年 3月31日	2020年 6月25日

#### 6. 税効果会計に関する注記

##### (1) 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別内訳

繰延税金資産	
税務上の繰越欠損金	1,752 百万円
有価証券等評価損	52,944 百万円
退職給付引当金	7,272 百万円
土地の減損等評価減	3,569 百万円
環境対策引当金	2,237 百万円
固定資産償却超過額	2,236 百万円
賞与引当金	1,034 百万円
事業撤退損失引当金	604 百万円
繰延ヘッジ損益	929 百万円
その他	1,981 百万円
繰延税金資産小計	74,557 百万円
評価性引当額	$\Delta 59,303$ 百万円
繰延税金資産合計	15,254 百万円
繰延税金負債	
土地の評価差額	$\Delta 1,268$ 百万円
その他	$\Delta 316$ 百万円

繰延税金負債合計	△1,584 百万円
繰延税金資産の純額	13,670 百万円

## 7. 金融商品に関する注記

### (1) 金融商品の状況に関する事項

当社は、事業運営に係る資金調達をE N E O S ファイナンス株式会社、JX Nippon Finance Netherlands B.V.及び金融機関等からの借入によっており、資金運用については短期的な預金等に限定しています。

受取手形及び売掛金に係る顧客の信用リスクについては、与信管理規程に沿ってリスク低減を図っています。また、投資有価証券は非上場株式であり、定期的に発行会社の財務状態の把握を行っています。

借入金のうち短期借入金は主として運転資金に係るものであり、長期借入金は設備投資及び投融资等に係るものです。なお、デリバティブ取引はリスクヘッジを目的としており、内部管理規程に従い、実需の範囲内で行うこととしています。

### (2) 金融商品の時価等に関する事項

2021年3月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については次のとおりです。

(単位：百万円)

	貸借対照表 計上額 (*)	時価 (*)	差額
①現金及び預金	161	161	—
②受取手形及び売掛金	56,225	56,225	—
③短期貸付金	94,066	94,066	—
④子会社株式 (時価のあるもの)	34,461	35,680	1,219
⑤関連会社株式 (時価のあるもの)	12,825	14,303	1,478
⑥長期貸付金	122,874	122,874	—
資産合計	320,612	323,309	2,697
⑦買掛金	29,440	29,440	—
⑧短期借入金 (1年内返済予定分を除く)	231,264	231,264	—
⑨長期借入金 (1年内返済予定分を含む)	12,241	12,138	△103
負債合計	272,945	272,842	△103
⑩デリバティブ取引 (*)			
ヘッジ会計が適用されていないもの	(1,277)	(1,277)	—
ヘッジ会計が適用されているもの	(3,033)	(3,054)	21

(\*) デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は純額で表示しており、合計で正味の債務となる項目については、( ) で表示しています。

(注) 金融商品の時価の算定方法並びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項

#### ①現金及び預金、②受取手形及び売掛金、③短期貸付金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっています。

#### ④子会社株式、⑤関連会社株式

これらの時価について、株式は取引所の価格によっています。

#### ⑥長期貸付金



長期貸付金の時価については、元利金の合計額を同様の新規貸付を行った場合に想定される利率で割り引いて算定する方法によっています。

⑦買掛金、⑧短期借入金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっています。

⑨長期借入金

長期借入金の時価については、元利金の合計額を同様の新規借入を行った場合に想定される利率で割り引いて算定する方法によっています。

⑩デリバティブ取引

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引について、取引の対象物の種類ごとの決算日における契約額、時価及び評価損益並びに当該時価の算定方法は次のとおりです。

(単位：百万円)

区分	デリバティブ取引の種類等	契約額等	時価	評価損益	当該時価の算定方法
市場取引以外の取引	商品先渡 売建	44,473	43,678	796	市場価格に基づく
	為替予約 売建	45,044	47,120	△2,075	為替相場に基づく
	為替予約 買建	64	66	3	為替相場に基づく
合計		89,582	90,863	△1,277	

ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引について、ヘッジ会計ごとの決算日における契約額等は次のとおりです。

(単位：百万円)

ヘッジ会計の方法	デリバティブ取引の種類等	主なヘッジ対象	契約額等	時価	当該時価の算定方法
原則的 処理方法	商品先渡 売建	原材料の 仕入	51,373	△2,717	市場価格に基づく
	為替予約 売建	商品及び 製品の輸出	10,479	△316	為替相場に基づく
為替予約の 振当処理	為替予約 売建	売掛金及び 短期貸付金	1,747	△64	為替相場に基づく
	為替予約 買建	短期借入金	2,248	43	為替相場に基づく
合計			65,847	△3,054	

(注) 非上場の株式(貸借対照表計上額 151,193 百万円)は、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積もることなどができず、時価を把握することが極めて困難であると認められるため、記載していません。

8. 関連当事者との取引に関する注記

(1) 親会社

(単位：百万円)

会社等の名称	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
E N E O S ホールディングス(株)	被所有 直接 100%	経営管理 役員の兼任	債務被保証 (注 1)	64,862	—	—

取引方針及び取引条件の決定方針等

(注 1) 当社の借入債務に対し、E N E O Sホールディングス株式会社が債務保証を行っているものであり、保証料の支払は行っていません。

(2) 子会社等

(単位：百万円)

会社等の名称	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
パンパシフィック・ カッパー(株)	所有 直接 67.8%	原材料等の 販売 原材料の仕入 資金の貸付 利息の受取 現物配当に よる株式取得 債務保証 役員の兼任	原材料等の 販売(注 1)	114,082	売掛金	19,945
			原材料の 仕入(注 2)	24,048	買掛金	3,184
			債務保証 (注 3)	31,253	—	—
			資金の貸付 (注 4)	—	短期 貸付金	93,306
			現物配当に よる株式取 得(注 5)	—	子会社 株式	34,148
J X金属商事(株)	所有 直接 100%	原材料の仕入 原材料、商品及 び製品の販売 債務保証 役員の兼任	原材料の 仕入(注 6)	61,784	買掛金	7,088
			原材料の 販売(注 7)	21,129	売掛金	5,903
MLCC Finance Netherlands B.V.	所有 間接 100%	資金の貸付 利息の受取 役員の兼任	資金の貸付 利息の受取 (注 8)	— 2,512	長期 貸付金	73,692
台湾日鉱金属股份 有限公司	所有 直接 83.7% 間接 16.3%	商品及び製品 の販売 債務保証 役員の兼任	商品及び製 品の販売 (注 9)	29,987	売掛金	8,035
ニッポン・ カセロネス・ リソーシズ(株)	所有 直接 100%	資金の貸付 利息の受取 債務保証 役員の兼任	資金の貸付 (注 10)	—	長期 貸付金	26,252
			債務保証 (注 11)	70,828	—	—
Caserones Finance Netherlands B.V.	所有 間接 100%	資金の貸付 利息の受取 役員の兼任	資金の貸付 (注 12)	—	長期 貸付金	9,563

TANIOBIS GmbH	所有 直接 100%	資金の貸付 利息の受取 債務保証 役員の兼任	資金の貸付 (注 13)	—	長期 貸付金	11,682
			債務保証 (注 14)	15,003	—	—
JX 金属製錬株	所有 直接 100%	役務の提供 役務の受入 設備の売却 債務保証 役員の兼任	債務保証 (注 15)	38,000	—	—
SCM Minera Lumina Copper Chile	所有 間接 100%	債務保証 役員の兼任	債務保証 (注 16)	10,546	—	—

(注)「役員の兼任」は、当社の取締役、監査役のほか、執行役員又は従業員が当該会社の役員を兼任している場合を含んでいます。

取引方針及び取引条件の決定方針等

- (注 1) パンパシフィック・カッパー株式会社への原材料等の販売については、市場価格を勘案して一般的取引条件と同様に決定しています。なお、期末残高には消費税等を含めています。
- (注 2) パンパシフィック・カッパー株式会社からの原材料の仕入については、市場価格を勘案して一般的取引条件と同様に決定しています。なお、期末残高には消費税等を含めています。
- (注 3) パンパシフィック・カッパー株式会社の取引債務に対し債務保証を行っているもの及び納税債務に関して金融機関が行っている履行保証に対し再保証を行っているものです。なお、取引債務に対する債務保証に係る保証料は受領していません。
- (注 4) パンパシフィック・カッパー株式会社に対する資金の貸付は、市場金利を勘案して決定しています。
- (注 5) パンパシフィック・カッパー株式会社からの現物配当による株式取得については、2020年4月における銅合弁事業運営体制の見直しに伴うニッポン・カセロネス・リソーシズ株式会社の株式取得であり、損益取引に該当するものではございません。
- (注 6) JX金属商事株式会社からの原材料の仕入については、市場価格を勘案して一般的取引条件と同様に決定しています。なお、期末残高には消費税等を含めています。
- (注 7) JX金属商事株式会社への原材料の販売については、市場価格を勘案して一般的取引条件と同様に決定しています。なお、期末残高には消費税等を含めています。
- (注 8) MLCC Finance Netherlands B.V.に対する資金の貸付は、市場金利を勘案して決定しています。
- (注 9) 台湾日鉱金属股份有限公司への商品及び製品の販売については、市場価格を勘案して一般的取引条件と同様に決定しています。
- (注 10) ニッポン・カセロネス・リソーシズ株式会社に対する資金の貸付は、市場金利を勘案して決定しています。
- (注 11) ニッポン・カセロネス・リソーシズ株式会社の借入債務に対し債務保証を行っているものであり、保証料は受領していません。
- (注 12) Caserones Finance Netherlands B.V.に対する資金の貸付は、市場金利を勘案して決定しています。
- (注 13) TANIOBIS GmbH に対する資金の貸付は、市場金利を勘案して決定しています。
- (注 14) TANIOBIS GmbH の借入債務に対し債務保証を行っているもの及び取引債務に対し債務保証を行っているものであり、保証料を受領しております。
- (注 15) JX 金属製錬株式会社の借入債務に対し債務保証を行っているものであり、保証料は受領していません。
- (注 16) SCM Minera Lumina Copper Chile の借入債務に対し債務保証を行っているもの及び

取引債務に対し債務保証を行っているものであり、保証料を受領しております。

(3) 兄弟会社等

(単位：百万円)

会社等の名称	議決権等の 所有(被所有) 割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引 金額	科目	期末 残高
E N E O S ファイナンス㈱	なし	資金の借入 役員の兼任	資金の借入 (注 1)	118,851	短期借入金 長期借入金	166,642 12,000
JX Nippon Finance Netherlands B.V.	なし	資金の借入	資金の借入 利息の支払 (注 2)	340 254	短期借入金	64,621

取引方針及び取引条件の決定方針等

(注 1) グループ資金取引として、E N E O S ファイナンス株式会社より必要な事業資金を借り入れる一方、余裕資金が発生した場合は借入金の返済または貸付を行っています。資金の返済における取引金額は、借入と返済をネット表示しています。

(注 2) 米ドルのグループ資金取引として、JX Nippon Finance Netherlands B.V.より必要な事業資金を借り入れる一方、余裕資金が発生した場合は、日々これを借入金の返済に充当しています。よって取引金額については、借入と返済をネット表示しています。借入利率については、市場金利を勘案して合理的に決定しています。

9. 1株当たり情報に関する注記

1株当たり純資産額	387円49銭
1株当たり当期純利益	39円16銭

10. 重要な後発事象に関する注記

該当事項はありません。